

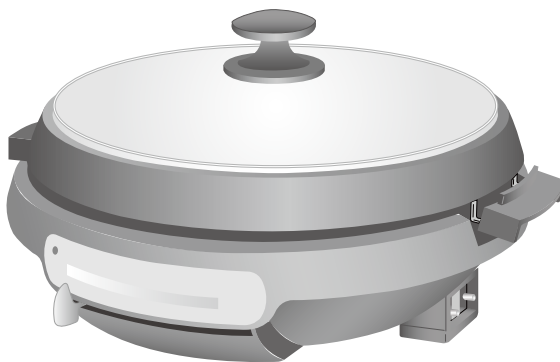


電気グリル鍋 YGB-W131

取扱説明書

もくじ

保証書付



- 安全上のご注意……………①～③
- 使用上のご注意 /仕様……④
- 各部の名称とはたらき……⑤
- 使いかた ……………⑥～⑦
- お手入れ……………⑧
- 故障かな?と思ったら・点検・⑨
- アフターサービスについて…⑩
- 保証書……………裏表紙

この商品は、海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

家庭用

- 業務用として使用しないでください。
- 他の用途でのご使用はしないでください。思わぬ事故の原因になります。

- ・このたびは、弊社電気グリル鍋をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
- ・ご使用前に、この取扱説明書を必ずよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- ・お読みになった後は、大切に保管してください。

安全上のご注意 **必ずお守りください**

●お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、安全に関する内容を記載しています。内容をよく理解して記載事項をお守りください。



警告

誤った取り扱いをしたときに死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの



注意

誤った取り扱いをしたときに傷害または物的損害に結びつくもの

図記号の説明



禁止

禁止 (してはいけないこと) を示します。具体的な内容は図記号の中や文章で示します。



指示

指示する行為の強制 (必ずすること) を示します。具体的な内容は図記号の中や文章で示します。



注意

注意を示します。具体的な内容は図記号の中や文章で示します。

警告



分解禁止

分解・修理・改造をしない

火災・感電の原因になります。修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。



水ぬれ禁止

水につけたり、水をかけたりしない

ショート・感電の原因になります。



交流100V
15A以上

電源は、交流100Vで定格15A以上のコンセントを単独で使う

交流100V以外で使ったり、コンセントを他器具と併用したり、延長コードを使うと火災・感電の原因になります。



禁止

電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりしない

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



禁止

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない

感電・ショート・発火の原因になります。



禁止

本体に衝撃を加えない

ひびが入ったり割れた場合、そのまま使うと加熱しすぎたり異常動作、感電の原因になります。



禁止

子供だけで使用したり、幼児の手の届く所で使わない

マグネットプラグも触らないように注意してください。感電やけが、やけどの原因になります。

警告



禁止

不安定な場所、燃えやすいものの近くや、周囲に熱がこもる環境で使わない

新聞紙など本体裏面の通気口をふさぐようなものの上や、じゅうたん・畳・ビニールシート・樹脂などの上では使わないでください。火災ややけどの原因になります。
※壁や障害物から10cm以上離してください。



禁止

すき間からピンや針金など、異物を入れない

感電や異常動作して、けがの原因になります。



禁止

揚げ物は、しない

火災の原因になります。



禁止

使用中や使用直後しばらくは、鍋やプレートなどの高温部にふれない

鍋やプレートなどが熱くなっていますので、やけどの原因になります。



濡れ手禁止

濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない

感電やけがの原因になります。



プラグを抜く

使用时以外やお手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く

感電やけがをすることがあります。



根元まで差し込む

電源プラグは、根元まで確実に差し込む

感電・ショート・発火の原因になります。



電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず電源プラグをを持って引き抜く

感電やショートして発火する原因になります。



ホコリをとる

電源プラグの刃および刃の取付面にホコリが付いているときは、乾いた布でふき取る

火災の原因になります。



必ず付属の電源コードを使用する

発熱・発火や故障の原因になります。



禁止

付属の電源コードを他の機器に使用しない

発熱・発火や故障の原因になります。

⚠ 警告



禁止

マグネットプラグにクリップなどの金属物を付着させない

感電やショート、異常動作して、けがや発火の原因になります。



プラグを
抜く

異常時(コゲくさい臭いなど)は、運転を停止して電源プラグを抜く

異常のまま運転を続けると火災・感電の原因になります。運転を停止してお買い上げの販売店にご相談ください。

⚠ 注意



禁止

熱板・遮熱板や鍋・プレートの裏面が汚れたまま使用しない

汚れてくると異常過熱して発煙・発火したり、故障の原因になります。



禁止

ふたを急激に冷却したり、衝撃を与えたりキズをつけない

ガラスが破損してけがの原因になります。



禁止

予熱以外に鍋やプレートを空焼きしたり、プレートで直火調理をしない

鍋(プレート)の変形・破損・フッ素剥がれの原因になります。



禁止

缶詰やビン詰めを直接加熱しない

破裂や赤熱してやけどやけがの原因になります。



禁止

水のかかる所や、火気の近くでは使用しない

感電や漏電の原因になります。



禁止

蒸し焼料理やステーキなどを焼くときは、ふたの間から出る蒸気や油の飛び散りに注意する

やけどのおそれがあります。



禁止

鍋やプレートに調理物や水を放置したり、金属製のへらやナイフを使用しない

フッ素加工がはがれる原因になります。

使用上のご注意

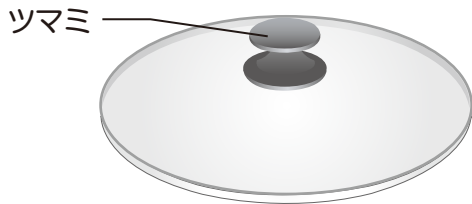
この製品は一般家庭用です。
業務用には適しません。

- 初めて使うときや長期間保管していたときは、ふたやプレート・鍋を水洗いして十分に乾燥させてください。
- 初めてお使いになるときは、煙がでたり、においがすることがありますが、故障ではありません。ご使用にともない、なくなります。
- 長時間使用していると、調理物の油や水の成分によって、プレート・鍋が変色することがありますが、ご使用に差し支えありません。
- ご使用中、きしみ音が発生することがありますが、ヒーターの熱膨張によるもので故障ではありません。
- 調理以外には、使わないでください。故障の原因になります。
- 調理中にプレート・鍋とふたの間からの水や水蒸気・油の飛び散りに注意してください。
- 調理中に多量の冷たい水をプレートに入れしないでください。急激な温度低下によってプレートが変形する恐れがあります。
ぎょうざなどを調理する際に水が必要なときは、熱いお湯を入れてください。
- 予備加熱以外に空焼きをしたり、金属へらやフォーク、ナイフなど角や先の鋭利なものは使用しないでください。プレート・鍋のフッ素加工がはがれる原因になります。
- プレート・鍋に調理物を放置しないでください。また、お手入れは早めにしてください。プレート・鍋のフッ素加工のはがれや浮き、変色の原因になります。
- 鍋を直火で使う場合は、中火以下にしてください。強火にすると、フッ素加工のはがれの原因になります。また、材料を入れない空の状態では火にかけないでください。
- プレートは、直火で使わないでください。

仕様

電 源	AC100V 50/60Hz	
定格消費電力	1300W	
本体寸法 (ふた使用時)	深鍋使用時	幅345mm×奥行315mm×高さ190mm
	波型プレート使用時	幅325mm×奥行315mm×高さ150mm
本体質量	深鍋使用時	約2.9kg(ふた、電源コード含む)
	波型プレート使用時	約2.7kg(ふた、電源コード含む)
電源コード長	1.8m	
温度調節範囲	保温～約230℃	
深鍋寸法	内径約26.0×深さ約6.0(cm) 容量 2L	
波型プレート寸法	内径約26.0×深さ約3.0(cm)	
ヒーター	シーズヒーター	

各部の名称とはたらき



●ふた

煮物料理や、焼物で油が飛び散るようなときにお使いください。

⚠ 注意

ふたは急激に冷却したり、キズをつけないでください。破損するおそれがあります。



●深なべ

煮物、鍋物、すき焼きなどにお使いください。焼き物料理にも使用できます。

⚠ 注意

深なべを直火で使う場合は、絶対に強火にしないでください。フッ素加工が剥がれる原因になります。

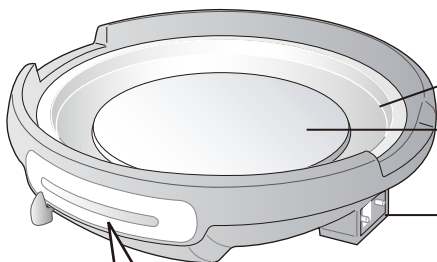


●波型プレート

焼肉料理などにお使いください。余分な油を落とします。

⚠ 注意

波型プレートを直火で使わないでください。フッ素加工が剥がれる原因になります。



●本体

遮熱板

熱板

プラグ受け

汚れたら拭き取ってください。

●電源コード

付属の専用電源コード以外は、使用しないでください。

電源プラグ

電源コード

マグネットプラグ

汚れたら拭き取ってください。

表示部



加熱ランプ

使用中は、温度調節の働きにより点いたり消えたりします。

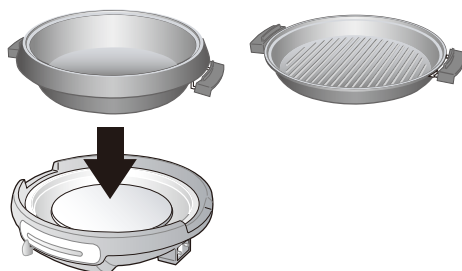
温度調節レバー

温度調節レバーを設定したい温度に合わせてください。使用後は、「切」に合わせて電源を切ってください。

使いかた

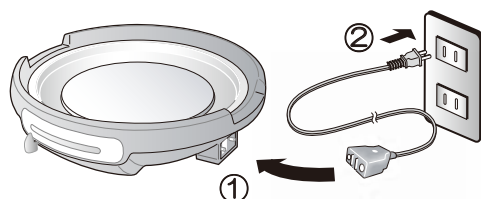
1 深鍋（波型プレート）を本体にセットする（用途によって使い分けてください。）

- 深鍋（プレート）の裏面や熱板、遮熱板に水滴や異物がついているときは、乾いた布などでふきとってください。
- 深鍋（プレート）ががたついてないこと、傾いていないことを確認してください。
- 使用時に深鍋（プレート）を取り外したりしないでください。やけどのおそれがあります。



2 電源プラグを接続する（①→②）

- ①温度調節レバーが「切」になっていることをご確認ください。
 - ②本体にマグネット部を取り付けてから電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください
- 深鍋（プレート）がセットされていない状態では絶対に通電しないでください。



警告

- 電源は、交流100Vで定格15A以上のコンセントを単独で使うタコ足配線をしたり、延長コードを使わないでください。
- 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない

3 調理する

〔焼きもの〕

1. 予熱する

- メニューに合わせて温度を選びます。
- 加熱ランプが点灯して、消えたときに予熱完了です。

※予熱の時間は設定目盛りや室温によって多少異なります。

●料理別の温度調節目安

目 盛	160	200	230
料理例	ホットケーキ 目玉焼 お好み焼き ハンバーグ	焼きようざ 焼そば	ステーキ 焼肉

2. 調理する

- 調理をする前にサラダ油をうすくぬってから、お使いください。
- 調理中は、加熱ランプがついたり消えたりして適温を保ちます。
- 焼き具合に応じて温度調節をしてください。
- できあがりをお早くしたいときや油が飛び散るときは、ふたをご使用ください。

- 調理中や調理直後にふたをとる場合は、ミトンやふきんなどを使ってふたのツマミを持ち上げてください。
- 調理中に多量の冷たい水を深なべやプレートに入れないでください。急激な温度低下によって深なべやプレートが変形したりフッ素加工を傷めるおそれがあります。ぎょうざなどを調理する際に水が必要なときは、熱いお湯を入れてください。

使いかた

【鍋もの】

- 水やだし汁(スープ)を入れ、ふたをします。
- 温度調節レバーを「強」にあわせませす。
- 沸騰したらふたを取り、材料を入れて調理します。
- 煮え具合により温度調節レバーで火力を調節します。

●料理別の温度調節目安

目盛	保温	160
料理例	おでん カレー スープ	寄せ鍋 すき焼き 肉じゃが

- 調理中にふきこぼれそうになったら、温度調整レバーをパイロットランプが消えるまで、「保温」側に戻してください。また、ふたを取るなどしてふきこぼれないようにしてください。
- 水や煮汁がプラグ受けにかかったときは、コンセントから電源プラグを抜いて、乾いた布などでふき取ってください。
- 深鍋は、直接ガス火にかけられますので、急ぎのときや下ごしらえのときに、ご利用ください。

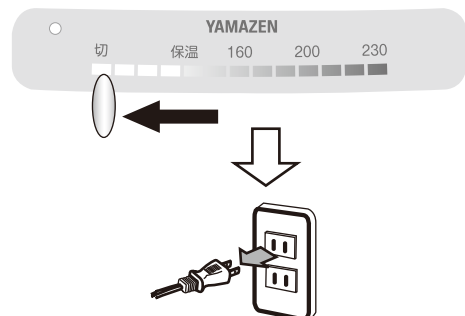
- ガスの強火での調理は、しないでください。取っ手がこげたり、変形の原因になります。
- 焼き物や炒め物の際は、ガス火にかけないでください。フッ素加工のはがれや変形の原因になります。
- 取っ手が熱くなりますので、ミトンやふきんをご利用ください。
- 調理中にプレートを取り外したりしないでください。やけどの原因になります。
- 使用中にキシミ音が発生することがありますが、熱による膨張収縮音で故障ではありません。
- 調理中、温度調節レバーを動かすときは、周囲が高温になっていますので、ご注意ください。

温度調節について

- グリル鍋は、鍋の温度をサーモスタットが感知し、ヒーターの断続運転によって温度調整をするため、ガスコンロなどと火力調節方法が異なります。
鍋が設定温度になると、サーモスタットが働いてヒーターへの通電を停止し、温度が下がってくると、通電を再開して設定された温度まで加熱するようになっています。
- 焼き物、炒め物の場合、鍋は設定温度まで上昇しますが、鍋物など、だし(液体)の多い料理の場合、水の沸騰温度(約100℃)を超えた温度以上に設定しても、料理の温度は100℃を大きく超えることはありません。
また、温度設定を低くしても100℃以上であれば、沸騰し続けることがあります。
特にとろみのついた料理の場合、焦げてしまうこともありますのでご注意ください。
- ランプの点灯中は、どの設定位置でも出力(火加減)は変わりません。
- 沸騰した後、煮込むときは温度調整レバーをパイロットランプが消えるところまで「保温」側にゆっくり戻してパイロットランプが消えるところで止めてください。
しばらくすると、再びランプが点灯して加熱し、短時間加熱しては消える、断続運転を繰り返します。煮え具合を見ながら、温度を調節してください。

4 使い終わったら

- 温度調節レバーを「切」にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本体・深鍋・プレート・ふたが十分に冷えたら、お手入れをしてください。

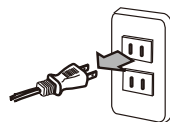


お手入れのしかた

1 電源プラグをコンセントから抜く



使用直後は、本体・深鍋・プレート・ふたは熱くなっています。
お手入れは、十分冷えたことを確認してから行ってください。



2 お手入れをする

本 体



お手入れにはシンナー・クレンザー・金属たわしなどは使わないでください。変色・変質・劣化などの原因になります。

- 本体外側、遮熱板は台所用中性洗剤を含ませたふきんなどで汚れをふき取った後、固くしぼったふきんで洗剤分をふき取ってください。
- 熱板は固く絞ったふきんでふいてください。
- 最後に乾いたふきんで水気をとってください。



丸洗い禁止

深鍋・波型プレート

- 本体から取り外して、台所用中性洗剤を含ませたスポンジで洗い、よく乾かしてください。
- こびりついた汚れは、ぬるま湯にしばらく浸してから落としてください。
- 洗った後は、十分に乾燥させてください。

ふ た

- 台所用中性洗剤を含ませたスポンジで洗い、よく乾かしてください。
- ふたは、熱いうちに水の中に入れてください。割れることがあります。

鍋（プレート）のフッ素加工を長持ちさせるために

- 金属へらなどを使用すると、鍋（プレート）表面にキズがつき、フッ素加工がはがれることがあります。樹脂製か木製のへらをお使いください。
- ナイフやフォークなど鋭利なもので、表面をこすらないでください。
- 鍋（プレート）は丸洗いできますが、みがき粉やたわし、金属タワシなどは使わないでください。
- 食洗器や食器乾燥機は、使用しないでください。
- 調理物を長時間放置しないでください。また、お手入れは早めに行ってください。

※ 鍋（プレート）のフッ素加工がはがれても使用できますが、焦げやすくなります。
（交換用の鍋（プレート）は、販売店から注文ができます。）

3 収納する

- お手入れをした後、十分に乾燥させてから湿気のないところに収納してください。
- プレートと鍋は、取っ手部分の位置を合わせて、プレートを鍋の上に重ねて置いてください。逆に重ねると、フッ素コーティングを傷つけることがあります。

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、次の点をお調べください。

こんなとき

深鍋（波型プレート）
温度が上がらない

- 電源プラグが抜けていませんか。
→しっかりと電源プラグを差し込んでください。
- マグネットプラグが本体から外れていませんか。
→確実に取り付けてください。
- 温度調節レバーが「切」の位置になっていませんか。
→レバーを調理物によって適切な位置にしてください。
- 鍋（プレート）が本体に確実にセットされていますか。
→傾いていたり、浮いていたりする場合は、再度セットしなおしてください。
- 遮熱板や熱板、鍋やプレートの裏面が汚れていたり、異物が付着していませんか。
→お手入れしてください。

使用中に音がする

- 「カチツ」と音がする。
→ヒーターの膨張による音で故障ではありません。

煙がでたり、においがする

- はじめてお使いになるときには、煙がでたり、においがすることがありますが、故障ではありません。ご使用とともになくなります。

加熱ランプがついたり消えたりする

- 設定した温度で温度調節（電源の入り切り）を行っているためです。異常ではありません。

※上記の点検または処置をしても異常がなおらなかったり、原因がわからないときは、自動温度調整器のダイヤルを「切」にして差込口から抜き取り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店へご連絡ください。

点検

電源コード、電源プラグはときどき点検を行い、異常があるときは修理をご依頼ください。

- 電源プラグやコードが手で持てないくらい熱く、異常と思われるときは、次のことをご確認ください。
 1. 電源プラグやマグネットプラグが汚れていたり、さびていたり、ホコリが付着していませんか。
→汚れ、さび、ホコリなどを取り除いてください。
 2. 延長コードを使用したり、同じコンセントで他の電気製品を使っていませんか。
→発熱の原因になりますので、単独でお使いください。
 3. 電源コードに傷があったり、異常にやわらかい部分がありませんか。
→内部で断線して発熱のおそれがあります。
 4. 電源プラグが軽く差し込めたり、自然に抜けたりしませんか。
→コンセントの劣化のため、コンセントを交換してください。（電気工事士の資格が必要です。）
- 運転中に電源コードを動かすと電源が切れるときは、コードが内部断線している危険性がありますので、お買い上げの販売店にご相談ください。

アフターサービスについて

製品の保証について

- この説明書には、製品の保証書がついています。
保証書は、お買い上げの販売店で「お買い上げ日」「販売店名」などの記入を受け、ご確認のうえ内容をよくお読みいただき大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
保証書の記載内容により修理をいたしますが、保証期間中でも有料となる場合があります。
- 保証期間後の修理
お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって使用できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」に沿ってご確認いただき、それでも異常のあるときは、ただちに使用を中止し、お買い上げ販売店に修理をお申しつけください。ご自分での分解・修理は、絶対にしないでください。感電やけがの恐れがあります。

補修用性能部品について

この製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後5年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■使いかたやお手入れなどのご相談は下記へ

この商品についてのお取り扱い・お手入れ方法などのご相談、ご転居されたりご贈答品などで、販売店に修理のご相談ができない場合は、右記までご相談ください。

お客様ご相談窓口

ダイヤル  0570-019-700

※PHS、IP電話など一部の電話からのご利用はできません。
受付時間 10:00～17:00 (土・日・祝日を除く)

- Eメールでのご相談も受け付けております。
その際は商品名・品番・ご相談内容・お名前
お電話番号をご記入の上、ご相談ください。

Eメールでのご相談は

info_a@yamazen.co.jp

個人情報のお取り扱いについて

株式会社 山善及びその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

※お問い合わせの際には、保証書に記載の商品名・品番をご連絡ください。